

# 山の活性化を自由に語る会

河之内地区で開催



平成16年の台風災害で多大な被害を受けた西条市ですが、その原因の一つが山林の荒廃による土石流や流木の発生でした。

このため、いかにして山を活性化・健全化させるかが今後の課題であるとして、山のことをよく知る山間部の人たちに自由に意見を述べてもらい、今後の防災事業に役立てようと、8月27日(月)に河之内の本谷温泉館で「山の活性化を自由に語る会」を開催しました。

当日は地元・河之内地区の方や、市から委託を受けて木製ダムの設置工事を担当している西条建設業協同組合の組合員、京都大学の小林正美教授など約50名が出席しました。

会では市の防災事業の取り組みや木製ダムの調査研究・設置工事について説明した後、河之内地区の方々から意見を伺いました。

河之内地区の方々からは「昔は間伐した木がお金になったが、今は手間賃もない」「間伐した木で木製ダムを作ることは、応急処置としては賛成。間伐にもっと補助金を出してもらいたい」「地元の平和を守るには山を守ること。50年、100年かけてでも元の健全な山に戻してもらいたい」など活発な意見が出されました。

市では今後も継続して、山の活性化について話し合いを重ねていく予定です。

国土交通省・自衛隊・気象庁などの協力による

# 総合防災訓練を実施しました

南海地震を想定した総合防災訓練を8月26日(日)に東予東中学校、9月9日(日)に西条東中学校で実施しました。

訓練は「みんなで参加!」「みんなで体験!」をテーマに市民参加型で行われ、地元校区の自治会員をはじめ多くの市民が参加し、消防機関や自衛隊などの指導による実践的な訓練を行ったほか、国土交通省や気象庁、各種企業による防災啓発の体験・展示コーナーも設置され、災害発生時の対応能力の向上を図りました。

市では次年度以降も中学校区単位で総合防災訓練を実施していく予定です。皆さんの積極的な参加をお願いいたします。



バケツリレーによる初期消火訓練



土のう作成訓練



応急救護訓練



食糧炊き出し訓練



仮設トイレ設置訓練



煙ハウス体験



救出搬送訓練



特殊車両の展示



体験・展示コーナー

# 第2回 西条獅子舞(防災)フェスティバル

## 市民パワーの強化に向けて

**日時** 11月4日(日) 13時~16時  
※雨天中止

**場所** 西条運動公園  
レクリエーション広場

市内の獅子舞をはじめ、今治市の「継ぎ獅子」など市外からもゲストを招き、多数の獅子舞を披露します。

獅子舞をはじめとする地域芸能の伝承は、地域づくりや自主防災などの主体となるコミュニティを醸成する手段として大変有効です。地域の伝統芸能を見直し、地域コミュニティにおける「市民パワー」を再認識してみませんか。

問合せ：市庁舎本館危機管理課 防災事業係 TEL0897-52-1283